

新聞を閲覧したり検索する

全国紙、地方紙、経済紙、専門紙など、合わせて約50紙が閲覧できるようになっています。地方紙は、北海道と東北6県を網羅しています。河北新報については、河北新報記事データベースのオンライン記事検索を無料で利用できます。4月からは、朝日新聞もオンラインで調べられるようになります。CD-ROMで記事検索ができるのは、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞、日経産業・金融・流通新聞です。これらについては縮刷版も収蔵しています。

→新聞・雑誌室(3F)

雑誌記事を調べる

館内で閲覧できる雑誌類(紀要を含む)は約2600タイトルで、あらゆるジャンルに及んでいます。学術雑誌や大学の研究紀要などもあり、国立国会図書館で編集・発行の『雑誌記事索引CD-ROM版』が調査の手助けとなります。週刊誌等のポピュラーな雑誌であれば『大宅壮一文庫雑誌記事索引CD-ROM版』(同



ビジネスマン&ウーマンのための 図書館利用術

文庫編著)がよく利用されています。また、本館では独自に主要雑誌の目次をファイリングしています。

→調査相談カウンター、新聞・雑誌室(3F)

専門誌、学会誌、研究紀要を読む

一般には販売されていない技術情報誌、学会誌、研究紀要なども数多く収蔵しています。技術情報誌は、企業の公開された技術情報などを掲載したもので、研究者や学生だけでなく企業の技術担当者、営業担当者にとっても、商品の知識や開発動向情報を得ることができるツールです。たとえば『トヨタ技術公開集』(同社)、『NEC技報』(同社)、『富士通ジャーナル』(同社)などがあります。

→新聞・雑誌室(3F)

統計・行政資料を調べる

政府統計では『国勢調査報告』(総務庁)、『農業センサス』(農林水産省)、『商業統計表』(通商産業省)など各省庁発行の資料を収集し、継続的に最新版に更新しています。『経済白書』(経済企画庁)、『環境白書』(環境庁)等もあり、行政資料は約1300タイトルを所蔵しています。



《宮城県関係の統計・行政資料なども充実》

『宮城県統計年鑑』などの県関係の統計・行政資料も約1800タイトルを収集。宮城県と仙台市の条例集、県や各市町村の長期総合計画、広報誌、県関係の入札公告等を掲載した『宮城県公報』も閲覧できます。

→みやぎ資料室(3F)



特集

図書館はビジネスにも役に立つ

▲一般図書室の閲覧席(3F)

図書館はビジネスにとっても情報と知恵の宝庫。企業経営を取り巻く環境が激しく変化するなかで、ビジネスに携わる人々は素早く情報を手にし、その価値を的確に判断したり、それを生かすことが求められています。図書館は利用のコツが分かれば、ビジネスのさまざまなシーンにおいても、強力な味方になるのです。今回は、ビジネスに役立つ図書館利用のヒントについて特集します。

情報価値の発見になくてはならない「場」

経営デザイン研究所代表 川村 志厚

私は東北の田舎町に生まれ育ちました。そこには明治時代に建てられた洋館風の図書館がありました。その建物の瀟洒な外観と重厚な内部の雰囲気が好きでした。30代になって、イギリスのハートフォードシャーに家族で暮らしました。

人口6千人ほどの村でしたが、充実した図書館があり、我々外国人も自由に利用できました。イギリスに限らず、ヨーロッパを訪れると、小さな町や村にも立派な図書館があり、コミュニティの重要な機能を担っていることに驚かされます。

現在、私はビジネスの最前線で働いているつもりです。仕事柄、ビジネス関係の方々と一緒に仕事をさせていただく機会がたくさんあります。情報過多ともいわれる時代、驚くほど物知りの方々がビジネスの世界でも随分増えてきています。

しかし、ビジネスの本質に迫る洞察力をもつ方々は逆に減っているのではないかという気がしてなりません。単に知識だけある人と、知恵も備えている人とは、ビジネスの結果に大きな開きが生まれます。ビジネスに関わる情報自体(知識)に価値があるわけではなく、情報から新しい価値を発見すること(知恵)にビジネスの醍醐味があるからです。

図書館は、ビジネスの情報価値を発見し(企画のプロセス)

それら情報を体系的に解釈し(編集のプロセス)解釈した情報を表現する(デザインのプロセス)という一連の価値創出活動になくてはならない「場」なのです。その価値創出活動は、仮説構築 検証 仮説再構築の繰り返しによって妥当性が確認されていきます。

この知恵を獲得する王道は、哲学、歴史、地理、科学の基本的な文献を熟読することにあるというのが私の持論です。カレントなフロー情報も大切ですが、ストックとなり得る情報から知恵が育つのです。

図書館が、各種統計資料、年鑑、報道記事等、ビジネス情報の宝庫であることはもちろんです。ビジネスに携わる人々が、図書館をより多くの機会に活用されることを望みますが、図書館もこうしたビジネス関係のニーズに応える機能や資料を、ますます充実させて欲しいものです。



かわむら・しこう / 経営デザイン研究所代表。1939年山形県生まれ。東北大学法学部卒。金融機関、外資系コンサルタント会社等に勤務し、ヨーロッパ等においてビジネスの第一線で活躍。1996年から現職。仙台市産業振興事業団の起業化支援アドバイザー、中小企業・ベンチャー支援センターのチーフアドバイザー等を務める。

民間統計では、『業種別業界情報』（経済情報出版社）自治体のプロジェクト情報等も収録した『都市データパック』（東洋経済新報社）『民力』（朝日新聞社）等の年報類も約500タイトルを開架しています。検索には『統計情報インデックス』（総務庁）が便利です。
 （注）省庁名は刊行時（平成12年12月末まで）の名称による。

→ 新聞・雑誌室（3F）

全国の企業情報を探す

宮城県はもちろん、全国50万社の企業情報がCD-ROMで探せます。CD-ROMの『TSR企業情報ファイルCD・Eyes』（東京商工リサーチ）は館内のパソコンで利用できます。図書資料では『帝国データバンク会社年鑑 東北版』（帝国データバンク）『みやぎの10,000社』（河北新報社）等もあります。

→ 調査相談カウンター、新聞・雑誌室、みやぎ資料室（3F）

ビジネス書・専門書を利用する

ビジネスに携わる方々は、キャリアアップ、スキルアップをテーマにした、いわゆる「ビジネス書」の利用が多いようです。たとえば、企画書の書き方や決算書の見方、資格の取り方等の図書ですが、これらは3類の書架にあります。マーケティング関係は6類になります。

工業技術関係の専門書もよく利用されますが、これらの図書は5類に並べてあります。

また、社史も多数所蔵しています。各社の商品のあゆみを調べたり、経営のヒントを探ることができるかもしれません。本を探すときは、館内の検索用パソコンをご利用いただくか、カウンターにご相談ください。

→ 一般図書室（3F）

本探しは分類番号を手掛かりに!!

6類（産業）を示す
3類（社会科学）を示す
分類番号

図書は「日本十進分類法」により、社会科学、技術、産業等の主題で分類し、各々3類、5類、6類など、0から9の分類番号を付けて番号順に書架にならべています。分類番号は、図書の背表紙に貼ってあるラベルの一段目に記入されています。

法律、判例などを調べる

『電子版現行法規』（第一法規出版）『判例体系CD-ROM』（第一法規出版）はキーワード等での検索機能が充実していて便利です。このほか『模範六法』（三省堂）雑誌では『ジュリスト』（有斐閣）『判例時報』（判例時報社）なども取り揃えています。判例は代表的な判決内容で、法解釈の参考になります。

また法律の公布、政令などは『官報』に掲載されており、慶応4年（1868）の『太政官日誌』第1号からマイクロフィルムで収蔵しています。

→ 調査相談カウンター、新聞・雑誌室（3F）

もっともっとビジネスに

資料探して困ったり、詳しく調べたいことがある場合には調査相談カウンター（レファレンス）にご相談ください。調査の内容によっては、それぞれの専門機関を紹介するなどして、ビジネス関係の利用者をサポートします。今後もビジネス関係資料の充実に努めます。お気軽にご相談ください。

→ 調査相談カウンター（3F）

専門書や技術情報誌で最新情報をチェック!

会社員 佐藤 潤さん（仙台市）

ハイテク機器の包装材を作る会社で、営業を担当しています。図書館に足を運ぶのは、専門書で素材について調べたり、技術情報誌で技術開発の動向などを読みたいと思うときです。お客さまは皆、専門家の方ばかりですので、普段からの情報収集は欠かせません。

もちろん、営業ですので、企業情報にもよく目を通しますね。パソコンで検索できるので、とても便利です。



正確な知識がないとプロでは通用しないのです!

スタイリスト 浅利優子さん（仙台市）

広告や雑誌の写真撮影の仕事が多いのですが、その下調べに、図書館をよく利用します。たとえば、「端午の節句」が撮影のテーマであれば、その歴史や各地の祝い方の違いなどを調べるといった具合です。自分の思い込みや感覚でコーディネートするだけでは、プロとしては通用しないんですね。

図書館にはたくさんの資料があるので、私には頼れる味方です。



利用者インタビュー



図書館 a r o u n d t h e み や ぎ

シリーズ第3回 小牛田町図書館（近代文学館） 館長 安彦淑子

小牛田町では1985年より、移動図書館「こぼと号」が運行されており、それを引き継いで1990年に「小牛田町近代文学館」として開館しました。図書館・町民ギャラリー・千葉亀雄記念文学室（注）の複合施設です。

図書館は蔵書冊数約11万冊で規模は大きくはありませんが、町民に親しまれ、頼りにされる図書館を目指して活動してきました。きめこまかなサービスと親切な対応が看板です。週2回のおはなし会をボランティアの方々と共に開催したり、学校と連携して子どもたちの読書や学習の要求に応えるなど、児童サービスに力を入れてきました。また、障害のある方や高齢者の方へのサービスも大切に考えており、宅配サービスや福祉施設での出前貸出なども行ってきました。

情報の過疎地になりがちな地方の町だからこそ、インターネット上でのOPAC（Online Public Access Catalogの略、オンライン利用者用目録のこと）の開放、自由にインターネット接続できるパソコンの設置、CD-ROMの導入など情報化の時代に対応するよう取り組んでいます。一人でも多くの町民に利用され、一人ひとりの要求に応

えられるようカウンター等での会話を基本に、今後も親切的な図書館を目指していきます。

（注）千葉亀雄（ちば・かめお）/ 1878～1935年。明治から昭和初期にかけて活躍したジャーナリスト、文芸評論家。読売新聞編集局長等を歴任。著書に『明治時代の文学』『ペン縦横』など。山形県生まれ。宮城県小牛田町で幼少から青年期を過ごす。



小牛田町図書館（近代文学館）

- * 開館時間：
火～日曜日 10：00～18：00
- * 休館日：
毎週月曜日、祝日（月曜日が祝日の場合は翌日振替休館）、年末年始
毎月第1木曜日 特別整理日
- * 交通案内：
JR 小牛田駅から徒歩10分
* 移動図書館車「こぼと号」運行

データ
 蔵書冊数：115,440冊
 （平成12年3月31日現在）
 貸出冊数：180,993冊
 （平成11年度実績）

〒987-0005 遠田郡小牛田町北浦字待江98
 TEL0229-33-3030 / FAX0229-33-3010
 （ホームページ）
<http://www.town.kogota.miyagi.jp/tosyo/top.html>